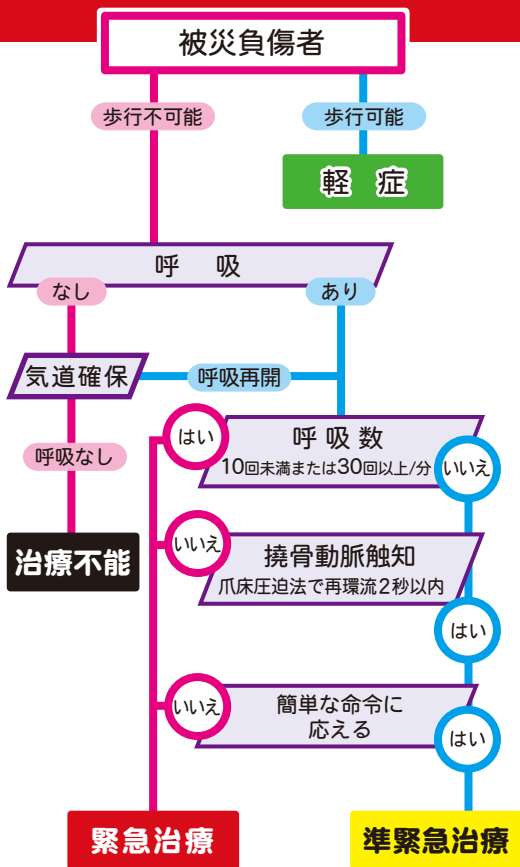


START TRIAGE

ふるい分け



大災害発生時対応の心得

被災時の初期対応は

まず自分の「生命」を守り、家族や自院の被災状況を確認。自院での診療を最優先し、次に避難所での巡回医療活動をお願いします。

「動ける人ができる事をする」のが基本です。

被災時には機能分担と連携が重要

診療所は近隣被災者の応急処置とトリアージを、病院は入院・治療を主に行うこと

医師としての努め

小児、妊婦、高齢者、障害者、難病患者など災害弱者の救護や生活不活発病、PTSD、ストレス症候群などの予防には全医師が参加を

一般社団法人 仙台市医師会 2015
<http://www.sendai.miyagi.med.or.jp>

仙台市医師会

検索



状況報告先と項目

仙台市医師会では震度5強以上の地震が発生した場合、医療機関の被害状況を確認します。状況によっては確認依頼が届かないケースも考えられますので、医療機関自ら下記の項目をお知らせ下さい。

具体的には

- ①緊急メール一斉連絡応答システムに登録している方
医師会からの連絡メールに回答
- ②①に登録しているが受診しなかった方、登録されていない方
メール・FAX・電話で下記報告項目をお知らせください

TEL : 227-1531 FAX : 267-5193
mail : sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp

報告項目

1 安否確認

無事

負傷

2 医療機関の被害状況

なし

一部破損

全壊

3 診療の可否

通常診療

条件付診療

診療不能

4 その他 (何でも構いませんのでご記入下さい)

*一斉メールへの回答は全角入力をお願いします。

安否確認

家族や親族の安否確認は災害用の

伝言ダイヤル

や

伝言板

をご利用下さい。

NTTの災害用伝言ダイヤル

毎月1日に体験利用が可能
です。ご利用ください

171 にダイヤルします

自分の安否登録は
【1】を押す

家族の安否登録は
【2】を押す

被災地内の自宅電話番号を市外局番からダイヤル

伝言を登録

伝言を再生

携帯電話の災害用伝言板

携帯各社の災害用伝言板を活用する方法もあります。利用方法（登録可能エリア・保存期間等）は各携帯電話各社によって多少異なります。基本的にはトップメニューに表示される「災害用伝言板」を選択し、登録・確認を行います。